

ヘンテコ風景を作ってみよう！ワークショップ



今井アレクサンドル さん



《マッター・ホルンとクマ》

第5展示室では、今井アレクサンドルさんの作品を展示しています。
アルプスや蓼科の風景画に、黒いクマのモチーフを描き加えた、少し不思議な作品です。

本来そこにあるはずのないものを置くシュルレアリズムの技法「デペイズマン」によって、見慣れた穏やかな風景が、違和感のある世界へと変わって見えます。
このワークショップでは、風景写真と、あなたが描いた絵を組み合わせて、ありえない出会いから生まれる「ヘンテコな風景」を作ります。

デペイズマン(Dépaysement) とは？

シュルレアリズムの技法として知られるデペイズマン(Dépaysement)ですが、もとはフランス語に由来する言葉で、「場違いさ」や「居心地の悪さ」といった違和感を意味します。

本来は結びつかないはずのもの同士が、思いがけず出会うことで生まれる感覚——それがデペイズマンです。

その象徴的な例として、ロートレアモン『マルドロールの詩』(1869年)に記された「解剖台の上のミシンと蝙蝠傘の偶然の出会い」という一節が挙げられます。

この不釣り合いな出会いから生まれる違和感は、シュルレアリズムの重要な考え方となり、現代の表現へと受け継がれています。

対象：子どもから大人まで(未就学児は保護者同伴)

参加費：2F企画展のチケットが必要です。

場所：軽井沢ニューアートミュージアム
1F中央廊下

時間：午前の部 10:30～12:30
午後の部 14:00～16:00 ※最終受付 15:30※

予約不要・飛び込み参加OKのワークショップです！



《蓼科とクマ》

軽井沢ニューアートミュージアム

〒389-0102

長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5

TEL 0267-46-8691 FAX 0267-46-8692

<http://www.knam.jp/>

